

観光人類学 I

科目ナンバリング CUA-201

選択 2単位

渡部 瑞希

1. 授業の概要(ねらい)

近年、地域活性化や地域創生、貧困削減、震災復興を促すものとして、観光開発が注目をあびています。しかし、そんな可能性に開けた観光開発にも「影」の側面があります。たとえば、経済格差や環境汚染、伝統文化やコミュニティの生態系の破壊が、観光開発によって拡大してしまうこともあります。そうした「影」の部分を最小限にするためには、観光地化される現場の事情や問題を知っておく必要があります。そこで本講義では、アジア、オセアニア諸国、アフリカ、日本等、世界各国の観光開発を事例に、その“光”と“影”の両方を学習することで、どのような観光開発が求められているのかを考えていきます。

2. 授業の到達目標

- ・観光開発の“光”と“影”の両側面を理解する
- ・観光開発によるさまざまなツーリズムの形態を学習する
- ・観光開発に関わる地域住民や旅行会社、NGO団体などの立場を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

平常点30点(受講態度10%、コメントペーパーと事前学習 20%)

試験 70%(講義内の小テスト 30%、期末試験 40%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

山下晋司編1996『観光人類学』新曜社 スミス、ヴァレン2018『ホスト・アンド・ゲストー観光人類学とは何か』ミネルヴァ書房 アーリ、ジョン2014『観光のまなざし』叢書・ユニベルシタス

5. 準備学修の内容

- ・授業でとりあげるテーマに関連する情報を、事前学習として授業前に読んでおく(→理解度が変わります)。
- ・講義後にコメントペーパーor課題or小テストの提出を求めます

6. その他履修上の注意事項

講義形式で授業を行います。講義内で明確な答えは出ませんが、「どうしたらよいか」と常に考えながら講義に望んでください。当然のことながら私語は厳禁

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 観光人類学とは何か?
- 【第3回】 観光開発の起源ーイギリスの産業革命
- 【第4回】 観光のまなざし
- 【第5回】 伝統の創造論
- 【第6回】 観光開発の担い手たち
- 【第7回】 小テスト
- 【第8回】 コミュニティ・ベースド・ツーリズムー幸せの国、ブータンの観光開発事例を取り上げます
- 【第9回】 スラム・ツーリズムーフィリピン、インド、アフリカのスラムの事例を取り上げます
- 【第10回】 ダーク・ツーリズムーカンボジアのキリング・イールド、アウシュビッツ、京都怪談ツアー等の事例を取り上げます
- 【第11回】 震災復興ツーリズムー東日本大震災の事例を取り上げます
- 【第12回】 エコ・ツーリズムー西表島、ガラパゴス諸島、ネパールの国立公園等の事例を取り上げます
- 【第13回】 巡礼ツーリズムー四国巡礼、メッカ巡礼の事例を取り上げます
- 【第14回】 総括と試験対策
- 【第15回】 まとめと試験